



人権講演会

7月の同和問題啓発強化月間で、7月9日(日)に予定していた、『南風校区 人権講演会ー「いのちのうた」/ 山口裕之氏』は、南風コミュニティセンターに避難所が開設されたため、**中止**となりました。

【再講演について】

来年の1月または2月の実施に向けて検討中です。きまり次第、別途ご案内します。

【大雨の状況】

- ◇ 7/7から梅雨前線による大雨となる
- ◇ 7/8(土)16:00 市内全域に警戒レベル3 (高齢者等避難)を発令し、**避難所を開設**。
- ◇ 7/9(日)11:30 警戒レベル3解除と避難所閉鎖



(7月は同和問題啓発強調月間)

南風校区 人権講演会

オカリナ演奏と語りの人権コンサート
「いのちのうた」/山口裕之氏
いのち・生きるすがたを見つめ、そっと背中を押す

講師/演奏者プロフィール

マザー・アース人権啓発研究所主宰・オカリナ奏者、31年間の小学校教職を歴し、人権啓発・人生応援活動に専念する。福岡県人権問題啓発研修講師、社会福祉法人種子の本福社会協事、福岡教育文化研究所事務局長、福岡市日中友好協会副会長、地域の人権活動を支援し、人権学習の教材開発や学芸会・町まつり講演会に力を注いでいる。
第9回日本オカリナコンクール「2位(1位なし)」受賞。人権・共生・平和を基調とした人権コンサート、孤児法コンサート、オカリナ・ヒーリング・カフェを各地で開催中。



日 時：7月9日
会 場：南風コミュニティセンター (1階) ホール
入場無
問合せ先：南風コミュニティセンター (月曜日を除く) ~17:00 (656)

中止

主催：糸島市人権・同和教育推進協議会 南風支部

糸島市人権・同和教育推進協議会 南風支部の基本方針
「南風校区民に自由平等の思想を啓発し、基本的人権を尊重し、部落問題の正しい認識を高め、一切の差別を許さない市民の形成を目指し、人権・同和教育及び啓発事業の推進を図ることを目的とする」と規定しています。
この規定をもとに「人権尊重のまちづくり」を推進する諸活動を継続して進めます。

街頭啓発活動

あらゆる差別の解消をめざし ~ 街頭啓発活動を実施

7月4日(火)、南風支部役員による街頭啓発活動を行いました。これは、同和問題啓発強調月間の一環として実施したもので、当日は午前と午後の2回、マルシヨク南風店入口にのぼり旗を立て、ベストにたすきを掛けた役員が来店客に「人権の尊重」と「あらゆる差別の解消」を呼び掛け、チラシとノベルティを配布。受け取った方からは「差別のない社会にしたいね」などの声も聞かれました。支部では、今後も様々な啓発活動に取り組む予定です。





ゆまきらきげない



【理解されにくい人】

障がい者のうち、「高次脳機能障がい」や「発達障がい」「精神障がい」をもつ人たちは「理解されにくい人」と思われています。

高次脳機能障がい

発達障がい

障がいは病気ではなく、脳の中樞神経がうまく働かないことが原因と考えられています。

精神障がい

令和4年版「障害者白書」(内閣府)によると、知的障害者109.4万人、精神障害者419.3万人(2017年度調べ)となっており、日本の人口の4%以上の人は何らかの障がいを持っていることになり、実は私たちの身近にいらっしゃるのです。

改めて考えてみよう!

ではなぜ「理解されにくい」のでしょうか?

見た目ではわからない

うまく伝えられない

本人はそうしたいくてそうしているわけではない

人によって症状に違いがあり、困っていることもそれぞれ違う



そういった方々は困ったときに何かサインを出していますが、上記のことから、周りから誤解されることも多いです。



大事なこと

- ・よく話を聞いてあげましょう
- ・落ち着くことのできる静かな場所を用意してあげましょう
- ・急がずに待ってあげましょう

出典:「理解されにくい人のSOS」 著者:河東田 博 ゆまに出版

そして毎年12月9日は「障害者の日」です。昭和50年(1975年)に「障害者の権利宣言」が国連総会で採択された日であり、国際障害者年推進本部が決定し、その後法律にも規定されました。

それをふまえ12月3日から12月9日を「障害者週間」と定められ、市同協南風支部でもそれに合わせ12月3日(日)に人権映画祭、人権標語表彰式、標語展示を計画しております。多数のご参加をお待ちしております。